

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうさくら 総社東教室

保護者等数(児童数)19件 回収数 18枚 割合 94%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1				・活動に応じて、スペースを変えたりパーティションで仕切りをしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			1	・適切だと思います。	・適切な職員配置をしています。 ・保育士、児童指導員、心理師を配置しており、専門性を高めるため、積極的に研修へ参加しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16			2		・活動スペースは、集まりの部屋・課題部屋・遊びの部屋と分かれています。 ・お子様たちが活動しやすいよう、段差をなくしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18					・清掃チェックシートを活用し、毎日清掃・消毒を行っています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18				・本人の苦手なことを理解し、行っている。	・支援内容が適切であるか、面談や送迎時に保護者に確認したうえで、児童発達支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1		1		・面談で保護者様確認のうえ、適切に支援に必要な項目を選択しています。支援内容も細かく記載しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17			1		・固定化しないよう、職員同士が意見を出しあっています。前年と同じ活動はなく、その年の子どもたちに合わせた活動内容に変更しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	1		1	・通園しているので機会はありますが、こぼんはうさくらの活動では、無いと思います。	・交流を希望されない保護者様の方の声があり、機会を設けておりません。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17			1		・契約時に説明しています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18					・半年ごとに面談にて、支援内容を確認しております。また、ご相談いただいた時には、随時支援内容を検討しています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	12	2	2	2	・ペアレントトレーニング等の話があれば、ぜひ、聞いてみたいと思います。	・必要なご家庭には、随時行っています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	2				・送迎時に日々の様子をお伝えしています。お会いできないご家庭には、連絡帳で細かく伝えたり、電話でお伝えしています。 ・保護者の方から連絡帳にて、多くのご相談を頂いています。頼ってくださりありがとうございます。
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	1			・半年ごとに面談を行っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	3		2	・保護者会等、参加していない。 ・また、茶話会へ参加して他の保護者とも交流したいです。	・年に1回開催しています。希望されても日時が合わず参加できない方が数名いらっしゃったので、回数を増やすことも検討しています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	2				・ご相談に関しては、できる限り当日返事をするようにしています。他の関連機関との連携が必要な場合でも連絡は、迅速に行っています。保護者様の不安なまきに寄り添えるよう心掛けています。
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1			・日ごろの様子を教えてください。おもしろいですが、急な休みでも振替を案内し、感謝しています。	・お子様や保護者様からの急な申し出にも出来る限り対応しています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	6		2	・会報やホームページ等見ない。 ・会報はわからないが、『お知らせ』の手紙を活動ごとに入れてくださっています。	・年間行事予定表やお知らせの手紙を配布しています。全体での活動概要等の発信はしていないので、伝えていくことを検討したいです。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	18					・個人ファイルは鍵付きの書庫に保管しています。 ・面談や見学の際には、個人が特定されるものは、書庫にしまったり、目隠ししたりしています。
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	3		1		・契約時に説明しています。また、教室内にも掲示しておりますが、園送迎の保護者様には、なじみがないかもしれません。
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1		1		・年に2回実施しています。 ・集団活動に組み込んでいますので、実施の際には、連絡帳に記載しています。	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	16	2			・毎週楽しみに行っている。 ・毎回楽しみに行き、やったことを教えてくれます。 ・喜んで行っています。先生方が大好きみたいです。 ・本人の苦手なことを支援してくれているので助かる。	・登所時は、笑顔だったり、泣き顔だったり様々ですが、降所時は元気に手を振って園に戻ってくれたら思いながら、支援しています。
	23 事業所の支援に満足しているか	18				・いつもありがとうございます ・いつも笑顔で迎えてくださり、急な相談も聞いて下さり感謝しています。	・ありがとうございます。私たちも、お子様の成長と一緒に感じることができ、嬉しく思っています。

369 27 3 15

89%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・年齢ごとに利用時間を分けているので、十分なスペースを確保できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			・適正な職員配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・室内は大丈夫だが2階にある為、階段を利用する。送迎に十分配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		・パーテーションで部屋を区切ったり、机を壁に向けて設置することで、課題に集中しやすくしている。・カーテンをつけて、不要なものは見えなくしている。・手拭きペーパーが1枚ずつ取れると、より衛生面で良いのではないかとと思う。	・細かいところも定期的に掃除していきたい。 ・手拭きペーパーは、早速改善しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		・日報や朝礼で伝達している。	・会議はもちろん、朝礼や業務間で情報共有をしています。 ・支障後、本日子様子を確認し、次回の支援について相談しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・アンケート結果を受け、保護者の意見を真摯に受け止め、改善していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			・自己評価表、改善点についてホームページにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		・こぼん本部の内部監査を行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・事業所内での研修のほかにも、他の療育事業所や就労支援事業所を訪問しています。 ・県や市の研修へ積極的に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・面談の内容を他の職員に共有し、計画を作成している。	・面談での話を元に実際に支援している職員と相談しながら支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・太田ステージを半年ごとに行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			・保護者との面談、関連機関との情報共有、送迎時のご家庭の様子などから、お子様に必要な支援を見つけたし、支援計画に生かしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		・支援計画の控えを連絡帳や個別記録ファイルに添付して、全職員がすぐ見れるようにしている。	・支援計画書を元にした課題が子どもの支援にあっていたか、確認をしています。支援中の問題点や成功例を共有し、次回の課題作りに生かしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・集団活動の流れを職員で確認する時間を設けている。 ・集団活動では、新しい活動を取り入れている。	・一人の職員が立案するのではなく、数名が考え、他の職員にも相談しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・2年に1度のペースで見直している。	・1、2年前のプログラムを見直し、子供の意見も聞きつつプログラムを立てています。 ・日々の活動の中から、お子様の苦手、得意を探し出し、集団活動に取り入れています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・記録を共有したり、一日のまとめを話すようにしている。 ・必ず確認するようにしている	・送迎、担当、を各自で確認している。主とする職員は、活動の流れを他の職員に周知しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		・記録を共有したり、一日のまとめを話すようにしている。 ・必要に応じて日報に記入し、職員の共通理解につなげている。	・当日欠席の職員への伝達を忘れないよう、必ず日報に記載するようにしています。 ・保護者からの相談事を周知し、内容によっては課題へつなげるよう、記録ファイルにも記載しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・支援記録は必ず書き、次回の課題作りにつなげている。
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・子供や保護者の状況を一番理解している児童音や管理者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			・会議だけでなく、普段から情報共有を行い、連携して支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4		・今のところ利用を希望されているお子様がいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	4		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・送迎時、担任の先生と子どもの様子について、話をしている。	・送迎時に先生方と情報共有をし、必要と思う時は、随時ケース会議や移行支援会議を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			・送迎時に先生方と情報共有をし、必要と思う時は、随時ケース会議や移行支援会議を行っています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		・コロナが落ち着いてから、外部とアクセスする機会を設けている。		

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8			・自立支援協議会や地域の活動へは、管理者が必ず参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・毎回連絡帳を使い、様子を伝えている。	・連絡帳、電話、送迎時にお伝えしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8		・毎回連絡帳を使い、様子を伝えている。 ・必要に応じて保護者の悩み、相談を聞き、アドバイスをを行っている。	・希望される方に対応(相談)を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・契約時に行っています。 ・疑問をお持ちの保護者がおられたら、随時説明をいたします。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・随時受け付けており、多くの保護者の方からお電話いただいています。今後も、時間の許す限り、助言と支援を行っていく。相談があったときは、管理者、児発曹への報告を徹底する。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		・茶話会を年に1回開いている	・年に1回開催している。保護者からの要望により来年度から回数を増やしていく方向で検討しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		・定期的ではないが、その都度お知らせの手紙を配布しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			・個人ファイルは、鍵付きの書庫に保管するなど、十分注意しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			・子供や保護者にあつた方法で伝えるよう心がけています。(電話、手紙、直接お会いするなど)
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	・市のイベントに協力し、地域の方にも案内している	・招待できるような行事を行っていませんが、近隣の方々へのあいさつを徹底し、交流を持つようにはしています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		・集団活動に訓練を取り入れている。	・年に2回行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・半年に1回、訓練をしている。	・集団活動に組み込んで年2回実施しています。実施日には、連絡帳に記載しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			・新規契約時には、お子様の持病、アレルギー等を聞き、全職員に周知しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		アレルギー表を作って、おやつを提供している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・職員の手の届きやすいところへ保管し、すぐに書く、読むが出来るようにしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・年2回の虐待防止、身体拘束防止研修を行っています。 ・事業所内に委員会を設け、会議をおこなっています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			・身体拘束については契約時保護者様にお伝えしています。